# 経済史概論Ⅳ (Modern Economic History IV)

科目ナンバリング ECH-104 選択必修 2単位

野澤 丈二

## 1. 授業の概要(ねらい)

TAEP(帝京アジア交流プログラム)留学生を主な対象とした科目です。授業はすべて英語で行われます この授業では、主に15世紀から20世紀までを対象として、国と国・地域と地域などの相互の繋がりや影響に主眼を置い て、経済史をよりグローバルな視点から学びます。

経済の三要素といわれるヒト・モノ・カネに加えて、そのほかさまざまなな要因(制度・情報・技術・宗教・教育・地理・環 境など)も考慮に入れながら、今日のグローバルな世界の成り立ちについて学びます。

# 2. 授業の到達目標

- ① 経済史とはなにかを説明て \*きる。
- ② 経済的に不均衡な世界の成り立ちを、その歴史的背景から説明で "きる。
- 、現在われわれが生きている状況を相対化し、複眼的な思考を養う。 ③ 歴史を知ることて

### 3. 成績評価の方法および基準

平常点 (40%):① 発表、② 小課題およびコメント・カード、③ 出席状況 期末試験(60%):授業内容を主な範囲として、60分間の筆記試験を実施します ※ 特別な事情がなく、4回以上無断で欠席した場合には、自動的に評価の対象外とします。

## 4. 教科書·参考文献

#### 参考文献

Manfred B. Steger Globalization: A Very Short Introduction (Fifth Edition) Oxford UP, 2020

## 5. 準備学修の内容

授業で指定する予習資料を事前に必ず読んでくること。 現在、「ク゛ローハ゛ル」な視点から書かれた歴史書か゛、一般向けにも多く刊行されています。書店に立ち寄る機会 があれ ば、ぜひ関連書棚を眺めてみてください。もちろんネット上で閲覧できる書評なども活用してくだ さい。

#### 6. その他履修上の注意事項

授業の内容や順番は変更になる場合があります。 日本語の補足や解説はありません。

# 7. 授業内容

イントロダクション 【第1回】

【第2回】 歴史学とはなにか、経済史とはなにか?

前期の振り返り 【第3回】

グローバリゼーションという概念 【第4回】

グローバリゼーションの時代区分 【第5回】

グローバルな経済秩序の形成 【第6回】

グローバル経済と国民国家 【第7回】

グローバル経済と文化 【第8回】

グローバル経済と環境 【第9回】

グローバル経済とイデオロギー 【第10回】

グローバル経済とジェンダー 【第11回】

【第12回】 グローバル経済の未来

【第13回】 【オンライン授業(LMSによるオンデマンド形式)】

ドキュメンタリーの鑑賞 【第14回】

【第15回】 まとめと試験